



令和7年10月23日

第55号

発行：地域学校協働センター



立子山チャレンジキャンプ



10月12・13日、福島大学災害ボランティアセンターの皆さんと
福島市にある立子山自然の家でキャンプを行いました！



1日目は、宝探しや野外炊飯、キャンプファイヤーを楽しみました。

宝探しでは、チームに分かれて自然の家館内や校庭、野外炊事場に隠された野外炊飯で使う道具を探しました。その道具には、キーワードが書かれており、つなげてみると「ゆ・う・は・ん・ナ・シ・ゴ・レ・ン」の文字が！ということで、夕飯はインドネシア料理のナシゴレンとバームクーヘンを作りました。



2日目は朝食後、昼食のおにぎりを自分で握り、館内を清掃して退所。その後、福島大学へ向かい、この日はならはっ子のために「リトルオープンキャンパス」を開いていただきました！



キャンパス内ある裁判所に模した教室で法律のお話を聞いた後、裁判官服を試着したり、放送部の学生さんとラジオの収録やチアリーダー部のお姉さんと一緒にダンスを踊りました。

子どもたちは、広いキャンパスに興味津々の様子で、将来、大学生になることを考えながら体験活動を楽しみました。

今回のキャンプも、子どもたちにとって大変有意義な時間となりました。ご協力いただいた立子山自然の家の皆さん、福島大学の皆さんありがとうございました！



こども教室で陶芸に挑戦！



楢葉町陶芸愛好会の皆さんと、陶芸教室を行いました。

はしおき・ペンダント・めいめいざら・マグネットの4種類から、子どもたちが実際に作りたいもの選び、2回に分けて制作しました。



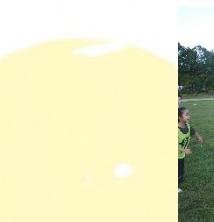
初回は、型抜きや竹串を使って成形しました。ハート型や星型を使って作る子もいれば、自由に生地を伸ばして形を作っている子もあり、夢中で作業していました。

2回目は、素焼きしていただいた作品に絵付けをしました。子どもたちは焼き上がりがどのようになるか想像しながら、思い思いの色を染めていました。

制作品がどのようにになっているか、出来上がりがとても楽しみですね！！



10月の活動風景



10月も地域住民や地域団体の皆さん、福島大学災害ボランティアセンターの皆さんと活発に活動することができました。皆さんのご協力により元気に活動する子どもたちの姿はとても素敵です。

日頃よりご協力いただいている皆様、ありがとうございます！

【お問合せ先】 楢葉町地域学校協働センター（楢葉小学校1階） 渡邊・渡部
(直通) 070-7421-5156 (こども課) 0240-23-5515

kyoudou-n@town.naraha.lg.jp